

編集後記

遅くなりましたが、2013年6月号をお届けします。今回は五月雨式に記事が到着し、結果的に皆様にお届けする時期が遅くなりましたこととお詫びいたします。

さて、JAFIAは来年1月に創立30周年を迎え、今任先生には本会発足の経緯や発展の歴史について巻頭言をいただきました。また、Christian先生からも「Happy Thirtieth Anniversary」と題してお言葉をいただきました。善木先生からは「グリーンアナリティカルケミストリ」に関して指標をいただきましたが、少量試薬化、クロードシステムの概念は今後更に重要になってくると思われます。

河島先生からは「分かれ道」と題してパーソナルレビューをいただきましたが、人生を定めてきた分かれ道を興味深く読ませていただきました。とくに、掲載されている写真を興味深く拝見しました。ミニレビューには森先生にご寄稿いただきましたが、土壌及び底質中の重金属の逐次抽出における連続流れ抽出システムの重要性について、わかりやすく解説していただきました。今任先生のグループからは3報ものレビューをいただきましたが、いずれも光学原理に基づく先生の最新の研究成果に関連した内容で、興味深く拝見しました。

研究論文として、スペインのMateo博士、大下先生、ロシアのBulatov博士のグループからの投稿を掲載しました。最近、研究論文の掲載数が減少しており、皆様からの

積極的なご投稿をお待ちしています。

新しく掲載が始まったFIAフロントラインはこれまでのビブリオグラフィーの後継に当たる企画で、重点的な解説を若手の先生方をお願いしていく計画です。初回は竹内先生をお願いしましたが、初めての企画でご苦勞様でした。トピックスはFIAに関するタイムリーな話題を掲載していますが、今回は愛知工業大学の山下さん、アクア・ラボの島田さんよりご寄稿いただきました。

また、タイのGrudpan先生からは昨年のFIA討論会に関するレポートをいただきました。写真が多く掲載されていますので、徳島での楽しい集会が思い出されました。学生の留学記としてPonhongさん、Vichapongさんから楽しい内容の報告記事をいただいています。最後に学会情報は竹内先生にまとめていただきました。

以上、皆様のご協力の下、今回も充実した内容の本ができましたことをうれしく思う次第です。今後とも、近況を含め、皆様方からの積極的なご寄稿をお待ちしています。

JFIA 編集委員長 長岡